

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①学習や特別活動、行事などの取組の中で、自分自身のよさや、集団のよさを見つけることができるようになります。②だれもが安心して生活できる学校を目指し、道徳科を中心に教育活動全体を通じて、互いのよさを見つけ、伝え合うようにします。
担当 児童育成部会	

豊かな心に関わる本校の状況

(1) 豊かな心に関わる児童の実態
 OR4の横浜市学力・学習状況調査の生活意識の結果では、「学校は安心して生活できる場所だと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高い。

学年	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかとい、そう...	そう思わない
6年生	43	37	14	6
5年生	64	21	11	4
4年生	62	30	6	2
3年生	55	30	9	4
2年生	49	30	11	6

OR4の横浜市学力・学習状況調査の生活意識の結果では、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と答えている児童が一定数いる。

学年	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかとい、そう...	そう思わない
6年生	33	35	18	14
5年生	49	21	11	19
4年生	55	34	2	9
3年生	39	27	18	14
2年生	53	34	8	4

(2) これまでの本校の取り組み状況
 ○Y-Pアセスメントシートや心のアンケートから児童理解を深め、情報共有をした。
 ○道徳科の授業公開を年1回以上実施した。
 ○人権研修を行い、児童が安心して学校生活を送ることができるような手立てを考えた。

今年度の目標

- 自分自身のよさを見つけて、自己肯定感や自己有用感をもてるようにします。
- 道徳科や学校行事、異学年交流などを通して、互いを認め合える態度を育成します。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<p>(1) 自分自身のよさを見つけることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市学力・学習状況調査の生活意識の実態を正確に把握する。 ・道徳の授業を中心とした学習活動や生活場面で、自分の考えや行動をふり返る機会を意図的につくる。また、客観的に自分のよさに気付くために、他者を交えながらふり返りを行う。 ・道徳の授業公開を年1回行う。 <p>(2) 互いを認め合えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習活動の中でグループワークを取り入れ、自分一人ではなく、他者と協働する時間を設ける。 ・対話を通して、自分と他者との共通点や相違点に目を向け、多様性について知る。 ・多様な人と関わる体験活動を通して、互いのよさが分かるようにする。
下半期	